

非特定汚染源からの流出負荷量の 推計手法に関する 研究成果発表会

平成 23 年度環境省環境研究総合推進費による研究課題【RFb-11T1】として(公社)日本水環境学会が受託し、ノンポイント汚染研究委員会が実施した研究成果の発表会を開催いたします。

家庭や工場等の特定汚染源からの発生負荷量は削減されているものの、湖沼や内湾などの閉鎖性水域における栄養塩濃度は依然として低下していません。この原因としては、非特定汚染源からの流出負荷の比率が高く、実際の流入負荷が削減されていないことが指摘されています。現在、総量規制等で採用されている非特定汚染源の原単位は、1980 年の規制開始当時からほとんど変更されておらず、その後の研究成果である流出負荷の変化や降雨時の流出特性等が反映されていません。

そこで、各非特定汚染源からの有機汚濁物質や富栄養化要因物質である窒素・リン等の流出に関する文献や観測データを収集し、非特定汚染源を市街地、農地、森林に分けて流域情報と負荷量に関するデータベースを作成するとともに、原単位に関する考え方について整理しました。この成果、およびそれらの成果を基礎にノンポイント汚染研究委員会にてさらに精査した結果を報告します。

定員
100名

事前の
申し込みが
必要です

日時 2012年12月13日(木) 13:30~16:45

プログラム

場所 東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室
〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 (Tel:03-5841-2403)



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線)	徒歩8分
本郷三丁目駅 (地下鉄大江戸線)	徒歩6分
湯島駅又は根津駅 (地下鉄千代田線)	徒歩8分
東大前駅 (地下鉄南北線)	徒歩1分

13:30~	開会・概要説明 古米弘明 (東京大学大学院工学研究科 教授)
13:45~	市街地からの流出負荷量の実態と検討課題 古米弘明 (東京大学大学院工学研究科 教授)
14:10~	水田からの流出負荷量の実態と検討課題 治多伸介 (愛媛大学農学部 准教授)
14:35~	水田以外の農地及び農業流域からの流出負荷量の実態と検討課題 江口定夫 (農業環境技術研究所 主任研究員)
15:05~	休憩
15:15~	森林からの流出負荷量に関する問題点と今後の課題 芳賀弘和 (鳥取大学農学部 准教授)
15:40~	総量削減計画および湖沼水質保全計画における原単位の設定根拠 増田貴則 (鳥取大学大学院工学研究科 准教授)
16:05~	総合討論
16:45	閉会

申し込み・
問い合わせ先

(公社)日本水環境学会
〒501-1193 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
電話03-3632-5351 Fax03-3632-5352
E-mail: excursion@jswe.or.jp

氏名・所属・連絡先 (Eメール又はFax) を記載の上、
Eメール又はFaxでお申し込みください。

主催



(公社)日本水環境学会
ノンポイント汚染研究委員会

共催



東京大学大学院
工学研究科付属水環境制御研究センター